

滋賀県ワーケーション推進部会の設立について

令和 4 年 6 月 1 日

観 光 振 興 局

新しい時代にあった今までにないツーリズムの「創出」に取り組むため、行政や観光事業者だけではなく多様な主体が相互に連携する推進組織として設立した、「滋賀県ニューツーリズム推進協議会」内の部会の一つとして「滋賀県ワーケーション部会」を設立した。

○設立の目的

- ・ 滋賀県のワーケーション推進、PR
 - ・ ワーケーション受け入れ整備（宿泊施設、体験施設、旅行会社等との連携強化） など
- ※会則は、資料 3 - 2 参照

○設立日

日 時：2022 年 2 月 16 日（水）15 時～16 時 30 分
方 法：原則として ZOOM（※一部メンバーは会場参集）
場 所：コラボしが 2 1 6 階会議室

○参加者

資料 3 - 3 参照

※設立に際し、まずはワーケーション推進の中心となる旅館ホテル・旅行事業者・市町観光担当課・観光協会・（公社）びわこビジターズビューローにより組織を立ち上げたところであり、今後は広く拡大していく予定。

○当日の議題

- ・ これまでのワーケーション事業について（県、一部市町から報告）
- ・ ワーケーションについてのこれまでとこれからの展望（日本旅行から）
- ・ 参加者との意見交換等

○これまでのワーケーション事業について

資料 3 - 4 参照

○今後の進め方

今後は、県内のワーケーションの推進に向けて外部講師を招いてワーケーションに関する勉強会、対外向けのセミナー等も実施していきたいと考えており、部会への参加も含めて、当協議会委員の皆様にも広く周知していく。

ワーケーションに興味のある事業者と宿泊施設が連携するプラットフォームの場にもなるように当部会の場を活用していきたい。

滋賀県ワーケーション推進部会 会則

(設置目的)

第1条 新しい観光スタイルの一つである「ワーケーション」を、多様な関係者が一体となって推進することにより観光振興を図るとともに、関係人口・交流人口の拡大につなげることを目的として、滋賀県ニューツーリズム推進協議会（以下「協議会」という。）会則第9条の規定に基づき、滋賀県ワーケーション推進部会（以下「部会」という。）を設置する。

(審議事項)

第2条 部会は、次の各号に掲げるワーケーションに関する事項について審議する。

- (1) 各団体等間の情報共有に関する事項
- (2) 各団体等間の相互連携や調整に関する事項
- (3) 広報宣伝活動等の情報発信に関する事項
- (4) 前各号に掲げるもののほか、ワーケーションの推進に必要な事項

(組織)

第3条 部会は、協議会会則第4条の委員および、部会会則第1条の設置目的に賛同する団体の代表者、または団体が推薦する者を部会員として組織する。

(部会長)

第4条 部会に部会長を置く。

- 2 部会長は、協議会委員の中から協議会会長が指名する者をもって充てる。
- 3 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。
- 4 部会長に事故があるときまたは欠けたときは、協議会会長が指名する者がその職務を代行する。
- 5 部会長の任期は、部会の解散までとする。ただし、特別な理由があるときは、この限りでない。

(会議)

第5条 部会の会議は、部会長が招集し、第2条の事項を審議する。

- 2 部会長は、必要に応じ部会員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。

(事務局)

第6条 部会の事務を処理するため、滋賀県商工観光労働部観光振興局内に事務局を置く。

(雑則)

第7条 この会則に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が別に定める。

附則

この会則は、令和4年2月16日から施行する。

滋賀県ワーケーション推進部会 名簿

		意向(部会)	担当課	担当者
市町	大津市	参加	観光振興課	松本 久孝
	大津市北部エリア魅力創造協議会			岡山 泰士
	彦根市	参加	観光交流課	中江 規子
	長浜市	参加	政策デザイン課	茂森 貴洋
	栗東市	参加	商工観光労政課	内記 拓哉
	甲賀市	参加	観光企画推進課	林口 友香里
	野洲市	参加	商工観光課	田中 広樹
	高島市	参加	観光振興課	越山 翔太
	東近江市	参加	観光物産課	山田 亜耶
	米原市	参加	シティセールス課	三輪 直之
	日野町	参加	商工観光課	中江 凌
	竜王町	参加	商工観光課	河原田 和輝
観光協会	(公社)びわこ大津観光協会	参加		北村 美佳
	(一社)栗東市観光協会	参加		山口 翔太郎
	守山市観光物産協会	参加		鈴木 繫幸
	日野観光協会	参加		藤澤 一浩
	(公社)彦根観光協会	参加		大塚 清寿
	(一社)びわ湖の素DMO	参加		沢田 美紀
	(公社)びわ湖高島観光協会	参加		遠藤 沙織
宿泊事業者	びわ湖畔のリゾート 白浜荘	参加		前川 為夫
	ホテル ポストンプラザ草津	参加		南 義彦
	びわこ緑水亭	参加		金子 憲之
旅行事業者	(株)日本旅行	参加	西日本地方創生推進部	渡辺 俊也
	株式会社JTB	参加	滋賀支店	宮川 一郎
	近畿日本ツーリスト(株)	参加	滋賀支店	松田 剛
	株式会社農協観光	参加	関西統括本部	伊田 英世
	クラブツーリズム株式会社	参加	京の旅デザインセンター	山口 剛史

(10) 令和4(2022)年2月16日(水)~2月18日(金) 2泊3日
彦根(ホテルサンルート彦根 宿泊)

参加者 … 1社から計4名

1日目 2/16 (水)		2日目 2/17 (木)		3日目 2/18 (金)	
13:00	各地より滋賀県へ JR彦根駅 改札前へ集合	8:45	【朝食】ホテル	8:30	【朝食】ホテル
13:15	<体験活動> 彦根城見学	10:10	<見学> 長浜港より船でパワースポット 「竹生島」へ	09:00	<地域貢献活動> 小学校にてお仕事講演 彦根市立旭森小学校6年生
16:00	キャンドルクラフト体験 (夢京橋あかり館) 世界に一つだけのオリジナル キャンドルづくり体験	12:35	昼食 ファームカフェにてお野菜たっぷり ランチをお召し上がりください	12:00	
16:15	【宿泊チェックイン】	13:15 14:15		12:30	専用車にてJR彦根駅へ
	・ワーキング	14:20	<体験活動> ヨコタ農園にていちご狩り (厳しい栽培基準をクリアして滋賀県 に認証された環境こだわり農産物)		解散
	【宿泊】	15:30			各自にて帰路へ (解散時間12:30)
		16:00	【宿泊】		

航空会社のふるさと応援隊の活動と連携したプラン。

今回は彦根の小学6年生 4クラスに向けてお仕事講演を実施

(コロナ禍のためオンラインに変更)

客室乗務員の制服を着てクイズを交えて普段の仕事のお話をしていただく交流活動をしていただく。

生徒様から質問もあり活発な授業の一環になり飛行機や航空会社をより身近に感じていただいた様子でした。

2日目は大雪になったが雪の中のいちご狩りなど滋賀県の冬の楽しさも満喫いただいた。

地元小学生向けオンラインでのお仕事体験授業



キャンドルクラフト体験



(17)令和4(2022)年3月22日(火)~3月23日(水) 1泊2日
高島(白浜荘 宿泊)

参加者 … 1社から計15名

1日目 3/22(火)		2日目 3/23(水)	
12:00	各地より滋賀県高島市へ 白浜荘 (集合時間12:00)	09:00	【朝食】ホテル
12:20 13:30	ホテル内にて昼食	11:30	琵琶湖にてカヌー体験
13:30 17:00	ホテル内会議室にてミーティング	12:00 13:00	ホテルにて昼食
	【宿泊チェックイン】		各自にて帰路へ
	テラスにてバーベキューの夕食		

アウトドア用品メーカーの社員のご参加

1日目、宿泊ホテル内、会議室にてミーティングしていただきテラスにてバーベキューをお召し上がりいただきその後、ホテル前の海岸でキャンプファイヤーもお楽しみいただき
2日目はその海岸でカヌー体験もしていただき社員間の交流も図っていただいた。

ホテル内会議室でのミーティング



夕食 (テラスにてバーベキュー)



キャンプファイヤー



カヌー体験



ワーケーションの展望について

企業のメリット

- よりジョブ型への雇用形態
- より成果試行への評価
- 事業継続のためのオフィス勤務のあり方を考える
- 社員の心身健康増進を図れる→健康経営



- 生産性・創造性・組織力を底上げ
- 企業価値・競争力の向上へ

企業の課題

- オンとオフの勤怠管理が出来ない
- 旅費を出張経費として持つことの是非
- 事故が起こった際の労災適用の有無
- 全社員を対象にしないと不公平が生じる
- 意義・費用対効果の面で社内稟議を通せない

ワーケーションの種類と求められる要素



ワーケーションは対象や目的に応じて、種類分けができます。認識があいまいなまま議論をスタートすることは混乱のもととなります。それぞれの型における利用者のニーズを把握し、地域の特徴と照らし合わせ、どんな形のワーケーションを目指すのかを明確にしましょう。

個人型



フリーランスの個人や、ノマドワーカー、あるいは企業の制度の範囲内で個人が行う形のワーケーション。通常の旅行と組み合わせて行う短期的なものから、ワーキングホリディ的に行う長期的なものまで含まれる。

合宿型



部署横断型のチームや特定のミッションを与えられたグループ等、日常の他の業務から離れ、中～短期で集中してプロジェクトを進めたり、メンバーの関係性強化を行うのに適している。IT企業におけるハッカソンなど。

福利厚生・サテライトオフィス型



企業が主体となり、コワーキングスペースなどと契約を結び、社員が必要に応じて利用する。企業との関係性によって、サテライト/シェアオフィスなどの形にも発展しうる。

集合・募集型



募集者があらかじめ日程や行き先を設定したうえで、参加者を募集するワーケーションの形。異業種や自社とは異なる文化との交流を行うことで、新たな観点の獲得を狙う。

ワーケーションの展望について

overview

ネットワークをフル活用！！

- 自治体や企業との連携により、ワーケーション受け入れ環境の整備やプログラムの開発
- 企業や個人向けにワーケーションの利用促進（モニターの募集等）
- ワーケーション導入に不可欠な企業における人事労務課題の解決
- 誘客・送客双方においてワーケーションの推進
- 宿泊施設等とのネットワークによりワーケーション受け皿の充実。

